



<日本語翻訳版>

※本リリースは、日本語翻訳版です。原文（英語）は以下ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.adidas-group.com/en/media/news-archive/press-releases/2015/messis-boots-today-recycled-yours-tomorrow/>

## 今メッシが着用しているスパイクも、後に誰かのスパイクへとリサイクル可能に アディダス、カスタマイズや再生利用可能で廃棄物ゼロのスポーツ用品プランを発表



**2015年9月24日（木）（ドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハ）**：本日、二度と捨てられることのない新しいかたちのスポーツ用品に関するプラン「Sport Infinity（スポーツインフィニティ）」をアディダスが発表しました。同プランにより、フットボールのクリエイターたちは、3D（三次元）の高機能素材を使用して、彼らにとって最高の製品を絶えず再考し、再利用できるようになります。あのリオネル・メッシが履くスパイクを含むスポーツウェアをグラム単位で粉砕し、廃棄物ゼロかつ接着剤不使用のプロセスで再生することで、消費者の皆様これまで以上に幅広いパーソナライゼーションの機会を提供します。

FIFA バロンドール（世界年間最優秀選手賞）受賞に4度も輝くという偉業を達成してきたリオネル・メッシは、次のように述べています。「私が着用するスパイクも含め、すべてのスパイクを環境保護を念頭において作ろうとするアディダスの努力を誇らしく思います。私にとって、これはフットボールの未来を象徴するものです。」

「Sport Infinity」とは、欧州委員会による資金援助の下、アディダスが主導する研究プロジェクトで、様々な業界及び学識経験者を集め、破損してしまったスポーツ製品と他の産業からの余分な材料とをひとつに組み合わせようとする取り組みです。すなわち、未来のフットボール・スパイクには、航空機製造に使用される炭素から、FIFA ワールドカップでのゴールを生み出したスパイクに含まれる繊維に至るまで、あらゆるものが取り込まれていく可能性があるということです。

この新たな素材開発により、スポーツファンの一人一人が製品デザイナーになることができます。ゴミを出すのを気にせず、実際に履く者が望むままに一足のスパイクのスタイルを改良し続けていけるようになるのです。最新流行を取り入れるにしろ、ピッチ上のニーズへの対応を最優先するにしろ、未来のフットボール・ファンたちがこれまでの古いスパイクを履くことはなくなるでしょう。



アディダスのテクノロジー・イノベーション部門のバイス・プレジデント、Gerd Manzは次のように述べています。「これは、フットボール・ファンにとって、まさしく革新的な開発となるものです。今後三年間にわたり、『Sport Infinity』では、フットボール・スパイクを使い捨てる習慣を終わらせることを目標に掲げていきます。それに代わり、スパイクの一足一足を単なるリサイクル品にとどまらず、消費者が個々に希望する仕様に対応できるよう再考してまいります。」

なお、アディダスと欧州委員会によって 2015 年 6 月に立ち上げられた今回の「Sport Infinity」プロジェクトには、以下の業界をリードするエキスパートたちも名を連ねています。

BASF SE; KISKA GmbH; FILL Gesellschaft m.b.H.; Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg (FAU); OECHSLER AG; University of Leeds, Centre for Technical Textiles (CTT); Association CETI (Centre Européen des Textiles Innovants); Hypercliq E.E.; SportsMethod Ltd.

\*\*\*

#### **Sport Infinity についてのアディダスグループウェブサイト (英語)**

<http://www.adidas-group.com/en/magazine/stories/specialty/farewell-recycling-infinity-cycling/>

#### **アディダスグループについて**

アディダスグループは、スポーツ用品業界のグローバル・リーダー的地位を占める企業として、adidas、Reebok、TaylorMade、Reebok-CCM Hockey といったコア・ブランドを中心に、スポーツ及びライフスタイル用フットウェア、アパレル、ハードウェア等、幅広い商品を提供しています。ドイツのヘルツォーゲンアウラッハに本社を構える同社グループでは、世界全体で 53,000 名を上回る従業員が勤務し、2014 年度には 145 億ユーロの売上を記録しています。

#### **グローバル担当者 連絡先情報:**

##### **Rob Hughes**

Managing Editor, Newsroom  
Tel: +49 (0)9132 84-6856

##### **Jan Runau**

Chief Corporate Communication Officer  
Tel.: +49 (0) 9132 84-3830

##### **Katja Schreiber**

Senior Director Corporate Communication  
Tel.: +49 (0) 9132 84-3810